

議員提出議案第5号

第7次エネルギー基本計画の閣議決定の見直しを求める意見書

上記の議案を提出する。

令和7年3月27日

提 出 者

22番 山 本 ひとみ

21番 本 間 まさよ

24番 西園寺 みきこ

武蔵野市議会議長 落合 勝利 殿

第7次エネルギー基本計画の閣議決定の見直しを求める意見書

2月18日、政府は第7次エネルギー基本計画を閣議決定しました。

この基本計画では、これまで記載のあった「原発依存度を可能な限り低減する」という文言がありません。原発については、「最大限活用する」との方向へ転換しました。2040年度の電源構成に占める原発の割合を2割程度にしていますが、これは既存原発の大半に当たる30基以上を再稼働させる想定となっています。

気候危機に対しても、「世界の気温上昇を産業革命前から1.5℃までに抑える」国際合意を守ることができるのか、踏み込んだ対応が必要です。

さらに、電力の大量生産大量消費の構造を見直し、省エネを図っていくことが急務です。

2011年3月11日の東日本大震災で福島第一原発は甚大な被害をもたらす事故を起こしましたが、いまだ事故の処理は終わっておらず、避難した住民も多数に上っています。

こうした過酷事故の教訓を生かし、再生可能エネルギーのさらなる活用を書き込む等の見直しが必要です。

よって、武蔵野市議会は、政府に対し、第7次エネルギー基本計画の見直しを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により、意見書を提出します。

令和7年3月 日

武蔵野市議会議長 落合 勝利

内閣総理大臣	}	宛て
経済産業大臣		
環境大臣		
資源エネルギー庁長官		